

中学講座の紹介(2023年度)

| | | |
|----------|---|---|
| 講師名 | 森田 龍彦 | 滝学園 ALT(リッチー) |
| タイトル | ① 高校英語への架け橋 | ② 中3 English Keys |
| 学年 | 中3 | 中3 |
| 時期 | 通年 | 通年 |
| 講座回数(予定) | 20 | 20 |
| 開講曜日 | 月 18:30~19:50 | 火 18:00~19:20 |
| 講座内容 | <p>英語が「なんとなく分かる」から「しっかり理解して使うことができる」ようになるよう学習します。</p> <p>昨年までは、文法を中心に中学英語の復習からZ会模試対策を兼ねて関係副詞・分詞構文・仮定法など高校範囲の単元にも取り組みました。今年度は、その文法範囲を英作文でアウトプットして定着を図る演習に焦点をあてようと思っています。また、皆さんが、ちょっと苦手になっているリスニングの演習も授業の合間に挟んでいく予定です。</p> <p>国公立大学への合格を目指すため、早期に高校英語への基礎固めを行いましょ。文法とリスニングのテキストを2冊使用する予定です。</p> | <p>英語力を上達させる必要がありますか。楽しみながら上達させたいですか。もしそうであればリッチーのEnglish Keysに参加しましょう！</p> <p>この講座は重要な英語の3つの力、リーディング・スピーキング・ライティングに着目します。授業では毎回これらの大切な力を身につけるためにオールイングリッシュで練習をします。そしてこれらの力は将来皆さんのドアを開いてくれるでしょう。役に立ち、教育的で、もちろん楽しい講座となります！English Keysをお忘れなく！</p> <p style="text-align: right;">リッチーより</p> |
| 教材費 | max 2,000 円(程度) | |

| | | |
|----------|--|---|
| 講師名 | 渡邊 裕也 | 福地 敏温 |
| タイトル | ③ ここから始める高校数学(火) | ④ ここから始める高校数学(木) |
| 対象学年 | 中3 | 中3 |
| 時期 | 通年 | 通年 |
| 講座回数(予定) | 20 | 20 |
| 開講曜日 | 火 18:00~19:20 | 木 18:00~19:20 |
| 講座内容 | <p>この講座は、中学の数学をしっかりと復習しつつ、その土台の上に高校数学を乗せるための講座です。</p> <p>大学受験を含め、高校数学では解答に至るプロセスを正しく記述する必要があります。皆さんには、中学数学でありがちな「答えが出ればいい」という感覚から卒業してもらい、「なぜその発想に至るのか」を深く追求することを目指してもらいます。しかし、探求を行うためにもある程度の道具は知らなければならぬので、まずはしっかりと中学数学を復習しつつ、取りこぼした内容を確認していきましょう。1学期は主に中学の数学の復習を中心とし、夏以降は高校数学に進みます。</p> <p>※本講座は「ここから始める高校数学(福地先生)」と同一講座になります。どちらか選択して受講してください。</p> | <p>この講座は、中学の数学をしっかりと復習しつつ、その土台の上に高校数学を乗せるための講座です。</p> <p>中学・高校の数学は人類の歴史と同様に、数学の歴史をたどりながら現代数学へと誘う数千年の物語でもあります。数学は単に目の前に出てくる問題を解くというだけでなく、人類が目前に起こっているその自然現象に、自らが編み出した記号で理解し、人に伝えるツールでもあります。まずはしっかりと中学数学を復習しつつ、取りこぼした内容を確認し、覚え当てはめる数学から、真に分かる数学へと皆さんを導きます。1学期は主に中学の数学の復習を中心とし、夏以降は高校数学に進みます。</p> <p>勉強という名の知的探究心を少しでも感じたいと思う諸君は、ぜひお越し下さい。</p> |
| 教材費 | 0 | 0 |

| | |
|----------|--|
| 講師名 | 飯沼 久美子 |
| タイトル | ⑤ 中3現代文記述対策講座 |
| 学年 | 中3 |
| 時期 | 通年 |
| 講座回数(予定) | 20 |
| 開講曜日 | 水 18:30~19:50 |
| 講座内容 | <p>現代文の記述対策をしていきます。</p> <p>教材は高校入試や、その先の高校1年生の模試過去問などを扱いながら、随時配布して行きたいと思えます。</p> <p>現代文という科目は、「今まで何となくやってきたけれど、どうも点数が伸びない」という、極端に苦手ではないけれど点数が伸びない、大嫌いというわけではないけれど文章を読むのはおっくう…というような漠然とした不安を抱えている人が多い科目です。</p> <p>しかしこれらは、まずは文章を真剣に読み込む練習、そして解答を書く練習をしないことには克服できません。授業ではできるだけ多くの評論文、小説文を扱っていきたいと思えます。</p> <p>授業中に問題を配付し、その場で解いてもらって解説します。予習の負担はありませんから、是非積極的に参加してみてくださいね。</p> |
| 教材費 | 0 |